

令和6年度 学校評価

学校番号(中15) 長崎市立(深堀中)学校

1 教育目標

共に学び、高め合う、希望あふれる生徒の育成
 ・学ぶ意欲 ・思いやる心 ・健やかな心身

2 学校経営方針

◎目指す生徒像
 ①自ら考え行動する生徒 ②基本的な生活習慣と学習規律を身につけた生徒 ③困難や厳しさに立ち向かう生徒
 ◎目指す学校像
 ①笑顔あふれる学校 ②一人一人が輝く学校 ③家庭・地域との連携を深め、安心と安全を保障できる学校
 ◎目指す教師像
 ①生徒一人一人を大切にできる教師 ②常に研鑽し、向上する教師 ③生徒・保護者との信頼関係を構築できる教師

3 重点目標

- ①各種感染症への対応
- ②確かな学力の保障
- ③特別支援教育の充実
- ④生きる力の定着
- ⑤健やかな身体と安心・安全な学習環境の保障
- ⑥信頼される学校づくりの推進
- ⑦小学校及び家庭・地域との連携
- ⑧働き方改革と服務規律の遵守

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	90	86	100	学校教育目標の目指す生徒像への取り組みは、三者とも高い。学校全体の雰囲気は生徒・保護者は高くなっているが、教職員が低くなっている。組織運営・業務改善において、協働性が醸成されておらず、職員の多忙感が増していることが原因と思われる。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	89	85	67	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			67	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			42	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	89	83	42	生徒と保護者の評価は、ほとんどの項目においても高い評価を得た。ただ、ルールやマナーについては、生徒・保護者は高いものの職員は、さらなる改善の必要性を感じている。あいさつは、保護者教職員が不十分さを感じており、生徒会のあいさつ運動などの取組を充実させるとともに、毎日の学校生活の中で指導を確実に毎日行っている。人権教育は人権教育担当者を中心に、日々の学校生活が人権教育を意識したものになるように職員の意識の変革を行い、生徒が安心して学校生活が送れるようにしていきたい。
		挨拶をよくしている	80	69	25	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)				
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	93	81	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	93	88	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	93	88	67	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	88	86	100	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	86	86	100		
学級の安心度	生徒は学級の中で安心して生活できていると感じている。	84	76	75		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	88	89	83	「家庭学習の習慣化」の取組として「三点固定」に家庭で取り組んできたものの、調査結果はまだまだ厳しい状況である。授業において学習者用PCを使った活動やAIドリルを活用した個に応じた学習方法の展開を行うことで、学力向上を図っていく。また、ふるさとのよさを生かした教育を来年度は計画していく。
	学習指導課程	わかりやすい授業を行っている	91	75	83	
		家庭学習の習慣が身に付いている	68	62	25	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	71	87	92	
	長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	86				
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	85	97	92	健康教育については、基本的な生活習慣が確立しないといろいろな病気や生活上の弊害が出てくることを、保健体育科の授業で学んでいることがわかる。食育については、給食指導は本校の大きな課題のため学級で取り組み、残食は減っている。また、学校保健委員会で食育についての研修を行った。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	86	73	50	
		体力向上に努めている	78	87	92	
	食育	食に関する教育活動を行っている	69	83	33	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	93	91	100	ほとんどの項目で肯定的評価であり、今後も油断せずに取り組んでいきたい。地域との連携については、様々な地域行事が開催された。教師の参加が少ないため地域との連携を強くするため積極的な参加を動めていきたい。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	91	91	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	93	95	92	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			92	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	76	88	100	備品等の整理をし、安全衛生推進委員会、安全点検を実施し、さらなる教育環境面での充実を図っていく。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			67	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

学校運営については、三者ともに教育目標の項目が高い。各教師が教育目標の具現化に向けて積極的に考え取り組んでいることが数値を高めている。業務改善については、職員の協働性の醸成に積極的に取り組む必要がある。あいさつについて、生徒・保護者は数値が高いものの職員は半数以上が不十分ととらえている。判断基準の相違によると思われるが、根気強い指導とともに日頃の授業あいさつから生徒会活動等を実践していくことで、気持ちよく笑顔であいさつができる生徒を育てていきたい。また、マナー等の順守についても同様のことがいえる。いじめ防止、人権教育、平和教育、学校安心度も非常に高いものの、100%を目指していきたい。あいさつとともに本校のもう1つの大きな課題が家庭学習への取組である。三者とも低い数値であるとともに生徒の割合が高いのは、生徒への浸透度が不十分であるといえる。保健・衛生については、今後も熱中症、各種感染症の予防を中心に徹底した取組を行ってきたい。環境については、生徒の割合が低いのは、清掃等の不十分さ(用具や時間)や施設の不十分さが考えられる。これも生徒会の整備部の活動と連携して、組織で取り組んでいく。

